

特定非営利活動法人 日本免疫学会
Tadamitsu Kishimoto International Travel Award for the 15th ICI
研究発表報告書

申請者氏名	嶋 秀明	会員番号	0032289
申請者の 所属・職名	横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 生体超分子システム科学専攻 博士後期課 3年、理化学研究所 統合医科学センター 粘膜システム研究グループ研修生		
出席会議名	15 th International Congress of Immunology		
発表論文 タイトル	Development a novel mucosal vaccine targeted to GP2 on Peyer's patch M cells.		

実施結果:

Tadamitsu Kishimoto International Travel Award for the 15th International Congress of Immunology (ICI)を賜りまして、まことに光栄です。

私は8月22日から27日までの間イタリアのミラノで開催された15th ICIに参加し、口頭発表を行いました。本会議は最新の研究成果についての討論や発表を行い免疫学の発展を図ることを目的とし、免疫学分野で最も歴史のある国際学会です。

会場はコンパクトにまとまっており、移動がとても容易で、興味のある発表を十分に聴くことが出来ました。また、ポスター発表の時間には多くの免疫学者が一堂に会し活発に議論が行われておりました。各国の研究者の話を直接聞いたことはとても刺激的な経験となりました。

私の発表は26日の後半のWorkshop: Mucosal vaccinesというセッション内の三番目でした。このセッション内での当該分野における研究者の発表および質問は、現在の自分の研究において、「どういった視点から見るべきであるか」という客観的な思考を学ぶことが出来ました。

私にとって初海外、学会での初口頭発表、初英語発表と、多くの貴重な初めての経験をすることが出来ました。そこから学び取ることの出来た課題を克服することが今後の目標になりました。

本賞の支援を受けられたことで、大学院生活の最後の年に国際舞台での研究発表を行うことが出来たことは、今後の研究生活において非常に有意義な経験となりました。また、前回の神戸で行われた14th ICIでのポスター発表後、本会議での口頭発表をひとつの目標として大学院生活を送ってきておりましたので、目標を達成出来たことも今後の自身の励みになる事と思います。

最後になってしまいましたが、本賞を賜るにあたり、また、本発表の研究を支援していただいた多くの方にお礼申し上げます。